

解答解説 3年()組()番 氏名()

地理B 年次末考查問題

実施日時：2023年1月27日（金）第3時限
出題者：加藤 一郎

受考上の注意……よく読んでから解答を開始せよ。

- 問題は12ページまである。
- 解答用紙と地図（国・地形・都道府県）は問題冊子に挟んである。
- 作図の問題は、問題冊子中の図に書き込んで解答せよ。
- 解答用紙と地図は問題冊子に挟んで提出せよ。
- 字数制限のある問題では、句読点も文字数に含む。
- 不必要なひらがなでの解答や誤字等は減点する。
- 考査時の巡回はないので、疑問があれば問題冊子や解答用紙にわかるようにメモせよ。

* 問題と解答は、地理Bのホームページで公開します。

<https://seifu.sakura.ne.jp/324/2022/chiri/#teikikousa>



第1問 これからますます増えるであろう日本に暮らす外国人について考えよう。(80)

I 國際分業の進展 (28)

先生：「国際化」と聞いて、どんなことを思い浮かべますか？

生徒：そうですね…。身の回りにあるものはほとんどが輸入品です。たとえば、ノートはインドネシア製、スマホは中国製です。国産品の方が珍しいかもしれません。今やほとんどの輸入品に関税がかからないそうですね。

先生：その通りです。仮に「〇〇製」であっても、部品は輸入品だったりしますね。典型的なのがスマホや自動車です。それだけ国際分業が進んでいて、モノの移動に国境はなくなっていることを示しています。

生徒：この間、政経の授業でも勉強しました！国を越えて経済的な結びつきが強くなれば、そう簡単に（　）はできませんよね。関税を撤廃して自由貿易をさかんにすることは、20世紀の二度の大きな（　）から得た教訓だったそうですよ。

問1 空欄にあてはまる語句を、漢字2字で答えよ。(2)

問2 下線部について説明した図1を読みとった文章ア～エのうち、正しいものをすべて選んで答えよ。(4)

(前提)

- ・ X国の工場で生産した自動車をY国に輸出した。
- ・ Y国の輸入会社は自動車を300万円で輸入した。
- ・ Y国政府が輸入自動車に課す関税の割合は輸入価格の20%である。
- ・ 単純化するために、両国で使用される通貨（お金）はどちらも円とする。

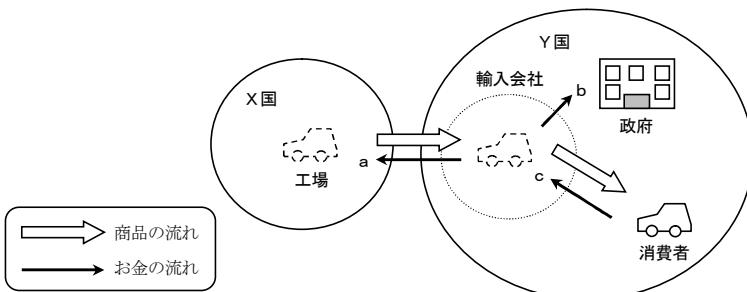


図1

- ア 関税にあたる矢印はbであり、輸入会社が支払う関税は60万円である。
 イ 輸入会社は330万円以上の値段で消費者に販売することになる。
 ウ 関税を納めるのは輸入会社で、関税を負担するのは消費者である。したがって関税は間接税の一つである。
 エ 関税は輸入品の価格を引き上げることから、関税の主要な目的は国内の企業を保護することである。

コメントの追加 [M1]: 国境に關係なくモノの移動を自由にすれば、國同士の關係が深くなり、おいそれと戦争できませんよね。第二次世界大戦後、自由貿易を推進するために設置されたのがGATT（ガット、関税と貿易に関する一般協定）で、これを受け継いだのがWTO（世界貿易機関）です。

コメントの追加 [M2]: 関税率は20%だから、300万円 $\times 20\% (0.2) = 60$ 万円を輸入会社がY国政府に支払います（アは正しい）。ですから輸入会社は、輸入価格に少なくとも関税分を上乗せて販売する必要があります（イは正しくない）。また、関税を負担するのは、360万円以上の価格で購入するY国の消費者ですから、「関税を納める人が関税を負担する人」となり、間接税であることがわかります（ウは正しい）。関税分だけ輸入品の価格は上昇しますから、同等の国産品があればわざわざ輸入品を買いませんよね。したがって、関税は政府が国内産業を保護する目的で課税します。このように、政府が自国産業保護のために高関税政策をとったら、国際経済は低迷しますね。また、人口が少なく市場の小さい輸出に依存する小国にとっては、大きな打撃を受けますね。結局、その不満は…。そうです。この局面を開拓するには、戦争という選択肢しかなくなるんです。

先生：先日の交流会では、タイ、ベトナム、中国の留学生が来校しました。

生徒：楽しかったです！3ヶ国とも、第二次世界大戦後、大きな経済発展をとげていますね。中国は1970年代末に始めた経済改革・対外開放政策（改革・開放政策）、2001年の世界貿易機関（WTO）加盟により国際貿易に本格的に参入して、「世界の（　）」になったんですね。

先生：その通りです。では、東南アジアのタイとベトナムは第二次世界大戦後、どのような道を歩んできたのか、ふりかえってみましょう。

問3 空欄にあてはまる語句を、漢字2字で答えよ。(2)

問4 下線部に関して、次の2枚のカードは、タイとベトナムの第二次世界大戦後の歩みをまとめたものである。(20)

① 19世紀にイギリスとフランスがタイをめぐって争ったが、タイ国王（a）の巧みな外交術により、東南アジアでは唯一、独立を維持したが、太平洋戦争中は日本の支配を経験した。第二次世界大戦後は（b）の対立という国際情勢のなか、アメリカ合衆国の支援を受けて東南アジアの資本主義国5ヶ国からなる1967年の東南アジア諸国連合・（c）結成に参加するとともに、積極的な外国企業誘致政策を進めた結果、比較的早い段階から工業化が進み、現在では東南アジアの自動車生産の中心としての地位を固めている。

② ベトナムは19世紀に（d）の植民地となり、太平洋戦争では日本の支配を経験した。第二次世界大戦後は（e）との独立戦争を戦って勝利をおさめたが、北緯（f）度の緯線を境に南北二つの国に分割された。1975年によく南北が統一され、社会主義国として新たに歩んでいくことになった。1986年にはベトナム版「改革・開放政策」ともいえる（g）の実施、1995年の東南アジア諸国連合への加盟により国際貿易に復帰し、最近は中国から移転してきた工場が増えている。

(i) 下線部について、どのような考え方か、1行の文章で説明せよ。(4)

(ii) 空欄a～c、d～fにあてはまる語句の組み合わせとして適切なものをそれぞれ選んで答えよ。(8)

①

ア a-ラーマ5世 b-米ソ c-ASEAN

ウ a-ラーマ5世 b-米ソ c-OPEC

オ a-ラーマ5世 b-米中 c-ASEAN

キ a-ラーマ5世 b-米中 c-OPEC

イ a-ホーチミン b-米ソ c-ASEAN

エ a-ホーチミン b-米ソ c-OPEC

カ a-ホーチミン b-米中 c-ASEAN

ク a-ホーチミン b-米中 c-OPEC

②

ア d-イギリス e-17 f-ドイモイ

ウ d-イギリス e-17 f-ペレストロイカ

オ d-イギリス e-38 f-ドイモイ

キ d-イギリス e-38 f-ペレストロイカ

イ d-フランス e-17 f-ドイモイ

エ d-フランス e-17 f-ペレストロイカ

カ d-フランス e-38 f-ドイモイ

ク d-フランス e-38 f-ペレストロイカ

コメントの追加 [M3]: (世界の) 工場

WTOは自由貿易を推進する国際機関ですから、安価に生産できる中国にとって、WTO加盟はまたとない輸出拡大・経済成長のチャンスだったわけです。

コメントの追加 [加藤4]: 社会の平等を実現しようとすること。

持つものと持たざる者にならないように、土地や工場などの生産手段の個人所有をやめてみんなの共有財産にしました（生産手段の公有化）。このほかにも、人間は合理的に行動すると考えれば、人々が商品をどのくらい必要としているか予測することができるから、政府は需要に応じた生産計画を立て、生産と供給を管理しようとしました（計画経済）。しかし、実際にはうまくいかず、深刻な経済の低迷を招いたことから、社会主義国であった東ヨーロッパの国々では1980年代末から革命がおこりました。1991年にはソ連も崩壊し、現在では中国やベトナムなど、社会主義国はわずかです。こうした国々でも、社会主義の考え方は維持しつつ、資本主義経済のしくみを取り入れて、経済を活性化しようとしています。それが、中国の改革・開放政策であり、ベトナムのドイモイ政策です。

コメントの追加 [加藤5]: ① ホーチミンはベトナム独立の父。ベトナム南部の都市・ホーチミンは彼の名にちなんで命名された。かつてはサイゴンといいました。冷戦は米ソをそれぞれリーダーとする国々の間の対立のこと。冷戦は1991年のソ連崩壊によって完全に終わりました。OPECは石油輸出国機構のことです。

② 19世紀の東南アジアの植民地化は、西からイギリス、東からフランスが進めました。北緯38度の緯線で分割されたのは朝鮮半島。ペレストロイカは、ソ連の指導者だったゴルバチョフが掲げたソ連改革のスローガンの一つで、「改革」という意味のロシア語。

- (iii) 会話文中の生徒は、タイとベトナムの輸出額の変化についてまとめた表1を読み取って、先ほどの2枚のカードの内容や授業で学んだことと結びつけて箇条書きにした。空欄にあてはまる数字や語句をそれぞれ答えよ。表1中のXとYはタイ、ベトナムのいずれか、sとtは衣類、*輸送用機器のいずれかである。ただし、空欄a・bは1000万ドルの位、空欄fは小数第1位を四捨五入していずれも整数で答えるものとする。(8)
- * 輸送用機器に船舶や航空機は含まない。

コメントの追加 [加藤6]: 箇条書きの空欄を順番に埋めていくと、X国はベトナム、Y国はタイ、品目sは衣類、品目tは輸送用機器ということがわかるように作問しました。
必要な知識は次の通り。

- ベトナムではフランス植民地時代からコーヒーの生産がさかんだった。
- 工業は衣類の生産など軽工業から始まり、工業が発展すると、より多くの資本や設備を必要とする機械や自動車の生産などの重化学工業へと移行する。
- タイに比べてベトナムの工業化は20~30年遅れて進められた。

表1

	品目	2000年		2020年	
		金額 (100万ドル)	割合 (%)	金額 (100万ドル)	割合 (%)
X国	米	501	3.5	2,791	1.0
	コーヒー	668	4.6	1,977	0.7
	s	1,540	10.6	13,330	4.7
	機械類	583	4.0	18,416	6.5
	電気機器	572	3.9	111,093	39.5
	t	74	0.5	3,157	1.1
輸出額計		14,483		281,441	

	品目	2000年		2020年	
		金額 (100万ドル)	割合 (%)	金額 (100万ドル)	割合 (%)
Y国	米	1,630	2.4	3,710	1.6
	コーヒー	42	0.1	3	0.0
	s	1,563	2.3	705	0.3
	機械類	11,788	17.1	38,049	16.4
	電気機器	15,509	22.5	34,403	14.9
	t	2,519	3.7	24,342	10.5
輸出額計		68,819		231,388	

(UN Comtradeにより作成)

- X国の2000年輸出額計は(a)億ドルであるが、2020年には(b)億ドルと大幅に増えており、輸出額の増加率はY国より大きく、この20年間で急速に経済発展していることがわかる。
- X国・Y国ともにかつては農業が主要な産業だったことから、X国では(c)と(d)、Y国では(e)の輸出に特徴がある。しかし、どちらの品目もこの20年間で金額は増えているものの、輸出額計に占める割合は低下している。
- X国では現在、(f)の輸出額が最も多い。これはX国よりも先に工業化が進展して、賃金水準が上昇した中国やY国などの東南アジア諸国から工場が移転してきたことが背景にある。
- Y国の品目別輸出額の伸びに注目すると、品目tの輸出額はこの20年間で約(g)倍に増えている。このことから、Y国では品目tを生産する工業の発展が著しいことがわかる。
- 以上より判断すると、X国は(h)、品目sは(i)であることがわかる。

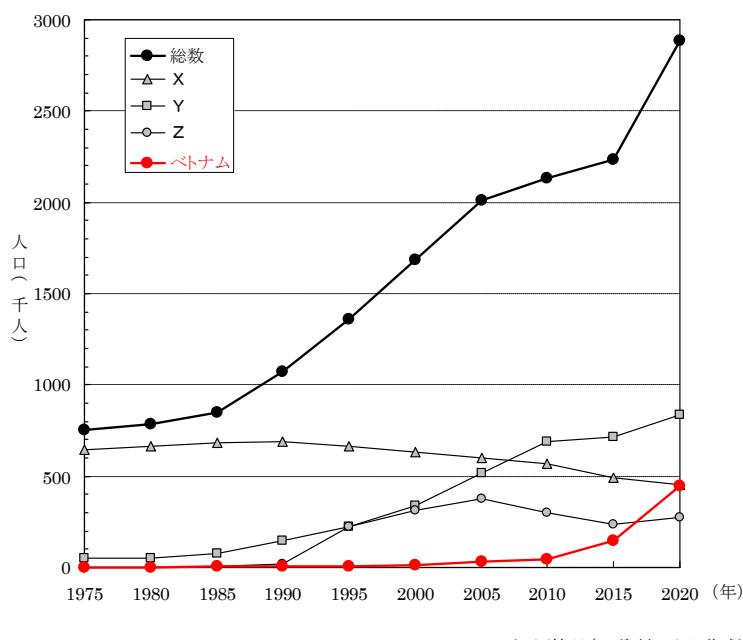
* このページは余白。

II 人の移動は? (18)

生徒：先ほどはモノの移動について考えましたが、国際化には人の移動もありますね。(1)今、日本の国内には289万人の外国人が暮らしている(2020年)そうです。

先生：その通りです。モノの移動の自由化は第二次世界大戦後、急速に進みました。人の移動は今でもかなり制限されているんですよ。(2)外国で生活したり、仕事をしたりするのに、パスポートがあれば可能、というわけにはいかないんです。

問5 下線部(1)に関して、図2は1975~2020年の5年ごとの日本に住む外国人の国籍別人口と総数の推移を示したものである。折れ線X～Zは、「韓国・朝鮮」、「南米諸国」、「中国」のいずれかである。(6)



(入国管理庁の資料により作成)

図2

- (i) 図2中にベトナムの折れ線を入れ忘れてしまった。表2をもとにベトナムの折れ線を赤で記入し、図2を完成させよ。そのさい、グラフの縦軸の目盛に注意して正確に作図すること。(4)

表2

年	ベトナム (千人)
1975	1
1980	3
1985	4
1990	6
1995	9
2000	15
2005	29
2010	42
2015	147
2020	448

- (ii) 表2によると、2020年のベトナム国籍の人口は()万人である。ただし、千人の位を四捨五入して万人を単位として答えること。(2)

問6 下線部(2)に関して、各間に答えよ。(12)

- (i) 日本国内での生活や仕事を目的に外国人が日本に入国するためには、在外大使館等が発行する(a)が必要である。その外国人が国内で適法に暮らすためには、入管法に定められた「技能」、「高度専門職」、「技能実習」、「留学」、「定住者」、「特別永住者」などの(b)の取得が必要である。(b)は時代の要請によって変化してきた。空欄にあてはまる語句をそれぞれ答えよ。(4)
- (ii) 会話文中の生徒は、先ほどの(i)をふまえて図2を見たときに気づいたことをまとめた。空欄にあてはまる語句をそれぞれ答えよ。(4)

- 折れ線Xは近年、減少傾向にある。これは日本の(a)時代に渡ってきた人々が高齢になって死亡したことや、その子孫が日本国籍を取得したことなどによるものである。
- 折れ線Zは1990年以降、急激に増加し、近年は減少傾向にある。これは入管法の改正によって、日本から海外に移住した人々の子孫である(b)の就労や家族の帶同が認められたことが大きい。しかし、2000年代後半のリーマンショックによる世界金融危機により景気が悪化すると、帰国者が増加した。

- (iii) 図2中の折れ線XとYにあてはまる国籍をそれぞれ選んで答えよ。(4)

コメントの追加 [M7]: 単位は千人だから、末尾の位(8の位)が千人の位になります。また、数字と単位の間に「×」の記号が省略されているので、 448×1000 人≈45万人と答えててもよいですね。

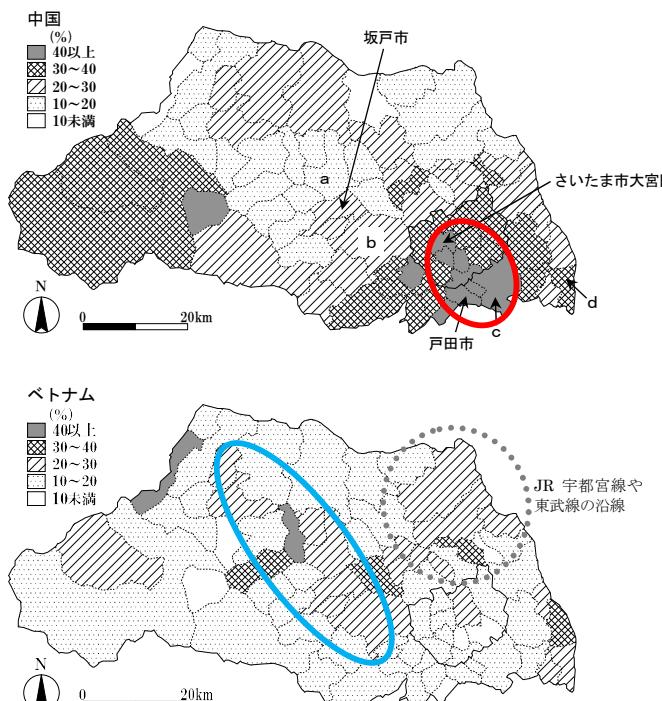
コメントの追加 [M8]: 朝鮮(半島)は、1910年の韓国併合で日本の植民地(領土)になりました。1945年の太平洋戦争の敗戦により朝鮮半島は冷戦の影響もあって混乱し、帰国せずに日本国内で生活しようと決めた朝鮮半島出身者もいました。日本で暮らしながら帰化(日本国籍を取得する)しない人にとって、韓国・朝鮮の国籍を維持することは、民族としてのアイデンティティを維持する上でも重要でした。

コメントの追加 [M9]: ブラジルやペルーなど南米諸国には19世紀末からたくさんの日本人移民が海を越えて渡りました。1973年の第一次石油危機後、こうした国々では経済が低迷し、日系人のなかにも生活に困窮する人もいました。逆に日本では空前の好景気、バブル景気にやり製造業を中心に極端な人手不足に陥りました。

III 埼玉県に暮らす外国人はどんなところに住んでいるの? (20)

生徒: 2021年12月現在、埼玉県には約20万人の外国人が暮らしているそうです。国籍ごとに住み分けがみられるのではないかと思って、図3をつくってみたんです。市区町村別外国人人口に占める各国籍の割合を階級区分図で表現しました。上の図は中国、下はベトナムです。

先生: すばらしい!! たしかに国籍により住んでいる地域は、ずいぶん違いがあるようですね。



(在留外国人統計 (2021年12月) により作成)

図3

- 問7 図3中の市a～dは、川越市、川口市、東松山市、三郷市のいずれかである。次の文章ア～エは、これらの市の交通を中心とした説明である。a～dの市の名称を答え、その市の説明にあてはまるものをそれぞれ選んで答えよ。(8)

- ア 千葉県・東京都と接する。埼玉県南部を東西に横断する高速道路・外環と首都高・常磐道の結節点である。高度成長期末期に武藏野線が開通し、一気にベッドタウン化が進んだ。
- イ 東京都と接する。もともと鉄物(いもの)産業がさかんだったが、都心とJR京浜東北線などで結ばれていることから、工場跡地を中心にタワーマンションが建設されるようになった。
- ウ 埼玉県西部の中心都市で、古くは城下町としてさかえ、近年は蔵づくりのまちなみや、特産のサツマイモを用いたスイーツなど多くの観光客をひきつけている。
- エ 自動車部品を製造する世界的企業・BOSH(ボッシュ)の工場があり、工業が主要産業である。近年、工場は市の中心部から同市の郊外などに移転しており、まちの風景の変化が進んでいる。

コメントの追加 [加藤10]: アは三郷市、イは川口市、ウは川越市、エは東松山市の説明になります。

問8 下線部に関する各間に答えよ。(12)

- (i) 中国国籍の人の割合が 40%以上 の市区町村が連続するエリアを、図3中に赤の○で記入せよ。(4)
(ii) ベトナム国籍の人の割合が 20%以上 の市区町村が 五つ以上連続するエリアは、図3中の灰色の点線で囲まれたエ
リア以外にある。このエリアを図3中に青の○で記入せよ。また、このエリアの特徴を鉄道に注目して1行の
文章で答えよ。(8)

コメントの追加 [加藤11]: 南から北に向かって川越市—
鶴ヶ島市—坂戸市—東松山市—嵐山町—寄居町と続く
で、東武東上線沿線にベトナム国籍の人々が集中してい
ることが読み取れます。

IV 技能実習制度について考えよう (14)

生徒：先ほどのⅢで、ベトナム国籍の人々がどんなところにまとまって暮らしているのか学習しましたが、最近、ベトナムから来日する人は、多くが技能実習生だそうですね。

先生：そうなんです。技能実習制度は（　）崩壊直後の1993年に始まりました。「途上国への国際貢献」を理念として掲げながら、実習生の低賃金・長時間労働が大きな課題になっています。でもね。すべての技能実習生が苦しめられているわけではないんです。さまざまな視点からものごとをみることは、とても大切ですね。

問9 空欄にあてはまる語句を答えよ。(2)

問10 下線部に関する新聞記事を読んで、各間に答えよ。(12)

「広がる技能実習生ネットワーク 佐賀の老舗靴下メーカーがベトナム人を引きつける理由」
(朝日新聞 GLOBE, 2022.10.22)

佐賀県中部の江北町。人口1万人足らずのどかな街に、ベトナム人実習生を受け入れる中小企業がある。老舗靴下メーカーの「(1)イイダ靴下」。若い日本人が集まらないのに困った飯田清三会長(80)が20年前、受け入れを決めた。コロナ禍の時期を除いて毎年10人前後を迎えていた。ほとんどが20代、30代の女性で「卒業生」が姉妹や親類、友人らに同社を紹介し、(2)バトンが引き継がれている。同窓ネットワークの中心にいるのが、堀田グエン・ティ・トゥイさん(32)だ。

農村で生まれ育ったトゥイさんは、ハノイの大学に進んだとき、イイダ靴下で実習を経験した幼なじみから、同社を薦められた。授業に物足りなさを感じたこともあって、大学を中退。2011年に入社した。実習期間を終える3年目に社員と交際を始めた。2014年2月にいったん帰国。同年9月に結婚し、3ヵ月後に再来日した。4年前に長男が誕生。いまは夫婦で同社に勤めている。日本語が堪能で、飯田の右腕として実習生の採用をサポートしている。

実習生の住まいは敷地内にある寮で、生活費を抑えられる。だから、*日本に来るために背負った多額の借金を返し、さらに200万~300万円がたまる。トゥイさんは寮に顔を出しては後輩の悩みを聞いたり、ショッピングに連れて行ったり。帰国した卒業生からの「日本に戻るにはどうすれば?」といった相談にも乗る。地域住民との交流にも気を配る。イイダ靴下でトゥイさんの2期先輩のチャン・ティ・トゥー・ハーさん(32)は帰国後、ベトナム人と結婚した。だが、日本で再び働きたい気持ちが募り、トゥイさんの知り合いがいる福岡県の短大に留学した。短大卒業後、実習生の受け入れ窓口である**監理団体の職員になった。両親に預けていた娘を呼び寄せて福岡県で暮らす。「娘はベトナム語はペラペラ」とほおを緩める。(中略)

飯田会長は、途上国への技術移転をうたう技能実習制度の「看板倒れ」を指摘し、「正面から労働者として受け入れるべきだ」「実習生にも転職を認めるべきだ」と制度見直しの必要性を強調してきた。同時に、帰国後のことを考え、日本語教育に力を入れる。日本語教師や、日系企業の社員なら高給を期待できるからだ。一方で、日本にいる間にできるだけ「日本」に触れてもらいたいと、社員旅行で各地に連れて行く。一昨年には夫婦の実習生向けの寮をつくった。長屋型の6戸で野菜作りができるよう小さな庭付きにした。「会社は実習生に支えられている」という飯田会長は安定した生活環境作りに余念がない。それが評判を呼び、希望者が後を絶たない。この20年で、のべ208人を受け入れた。黙って姿を消したのは3人で、この15年以上はゼロだ。ベトナム人コミュニティーが日本社会でゆっくりと広がり、溶け込んでいる。(織田一・朝日新聞機動特派員)

* 技能実習生の受け入れは、実習生の母国の送出(おくりだし)機関と日本の監理団体の間でのやりとりのなかで決まることが多く、技能実習生として日本にやってくるベトナム人は、母国の送出機関に多額の費用を支払う必要があり、借金する実習生も多い。

** 技能実習生と日本の企業を結びつけたり、実習生からの相談を受けたりする業務にあたる団体のこと。

- (i) 下線部(1)に関して、イイダ靴下は国際貢献の理念に共感して 20 年前に技能実習生を受け入れたのではない。どのような理由から受け入れを始めたのか、1行の文章で答えよ。(4)
- (ii) 下線部(2)の理由について、これは会長の飯田清三さんと社員の堀田ゲン・ティ・トウイさんの取り組みの成果であることが記事から読み取れる。二人がどのようなことを具体的にしてきたのか探し、記事中に下線を引け。
ただし、飯田さんは赤、トウイさんは青の色鉛筆を用いること。(8)

コメントの追加 [加藤12]: 記事 2 行目に「若い日本人が集まらないのに困った」とあることから、イイダ靴下では当時、人手不足に陥っていたことがわかります。

コメントの追加 [加藤13]: 従業員への手厚いサポートが会社にとっていかに重要かわかりますね。トウイさんの存在は会社にとって大きいですね。

第2問 国・首都・地形・都道府県・都道府県庁に関する各間に答えよ。なお、位置は問題冊子に挟んであるA4版の地図を用いて答えよ。(20)

問1 次の説明にあてはまる国^の位置と国または首都の名称をそれぞれ答えよ。(8)

- a. (首都) イングランド・ウェールズ・スコットランド・北アイルランドの連合王国 (ユニテッドキングダム, UK)。EU脱退(ブレギット)後の経済の見通しが不透明。
- b. (国) 南は黒海に面し、ナインゲルで有名な19世紀のクリミア戦争では主戦場。クリミア(クリム)半島の一部は現在、ロシアが占領中。原発事故が起きたチェルノブイリはこの国の北部。
- c. (国) 1948年のイスラエル建国に伴い発生した中東戦争ではイスラエル領内で暮らしてきたアラブ(パレスチナ)人難民がこの国に避難した。
- d. (首都) 1945年まで日本の植民地。1948年にアメリカの支援を受けて成立。1965年以降、日本の援助で工業化に成功。1988年にオリンピック開催。焼肉、キムチ。

問2 次の説明にあてはまる地形の位置と名称をそれぞれ答えよ。(4)

- a. 黒海のエーゲ海(地中海)への出口。この海峡を境に西側がヨーロッパ、東側がアジア。トルコの大都市イスタンブールはこの海峡に面する。(海峡)
- b. アフリカ大陸とアラビア半島の間の海。苏伊士運河は地中海とこの海をつなぐヨーロッパとアジアの物流の重要な地点。(海)

問3 次の説明にあてはまる都道府県の位置と都道府県または都道府県庁の名称をそれぞれ答えよ。(8)

- a. (都道府県庁) ずんだ餅、牛タン焼き、笹かまぼこ、<萩の月>
- b. (都道府県) おやき、信州りんご、信州そば、野沢菜漬け
- c. (都道府県庁) 味噌カツ、味噌煮込みうどん、喫茶店のモーニング、<ういろう>
- d. (都道府県) 松葉ガニ、二十世紀ナシ、砂丘ナガイモ、ラッキョウ

※ 問題終わり。

地理B 年次末考査解答用紙（1）

第1問 (80)

問1	戦争				
問2	ア, ウ, エ				
問3	工場				
問4	i 社会の平等をめざす考え方。				
	ii ① ア ② イ		* 各4点・知識(採点注意)		
	a 145		b 2814	c コーヒー	d 米
	e 電気機器		f 10	g ベトナム	h 衣類
問5	ii 45				
問6	i a ビザ		b 在留資格		
	ii a 植民地		b 日系人		
	iii X 韓国・朝鮮		Y 中国		
* 完答4点・思考力					
問7	a 市: 東松山市 説明: エ		b 市: 川越市 説明: ウ		
	c 市: 川口市 説明: イ		d 市: 三郷市 説明: ア		
問8	ii 東武東上線の沿線である。				
問9	バブル				
問10	i 求人しても若い日本人が集まらず、人手不足に陥っていたから。				

p.6 () 点／4点 図2：折れ線（赤）

p.8 () 点／8点 図3：中国（赤）・ベトナム（青）の居住地域・思考力

p.10 () 点／8点 記事：飯田さん（赤）・堀田さん（青）の取り組みに下線・思考力

知識・技能： 作図（ ）点／4点+国・県（ ）点／20点+その他（ ）点／32点

思考力・表現力： 作図・下線（ ）点／16点+文章や思考力を要する組み合わせ（ ）点／28点

地理B 年次末考査解答用紙（2）

第2問 (20)

問1	a 番号: 53 首都: ロンドン	b 番号: 69 国: ウクライナ
	c 番号: 74 国: ヨルダン	d 番号: 51 首都: ソウル
問2	a 番号: f4 海峡: ボスボラス海峡	b 番号: g4 海: 紅海
問3	a 記号: 4 都道府県庁: 仙台市	b 記号: 16 都道府県: 長野県
	c 記号: 19 都道府県庁: 名古屋市	d 記号: 23 都道府県: 鳥取県

